

## 第3回 Inter-COE21 シンポジウム

東京工業大学では、21世紀 COE プログラムに採択されている12の研究教育拠点が合同で高校生向けシンポジウムを8月25日(木)、26日(金)に開催しました。

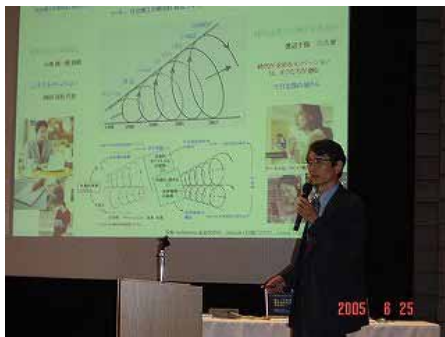
### 1. 初 日

午前中は70周年記念講堂において、21世紀 COE プログラムに採択されている12の研究教育拠点それぞれの説明会が行われました。

学長の挨拶に続いて、各12拠点から代表の教員が、それぞれ10分ずつ研究について説明を行いました。



「インスティテューショナル技術経営学」拠点リーダー 渡辺は、「技術経営とインスティテューションとの共進ダイナミズムの解明」の観点で本 COE の研究内容を紹介しました。

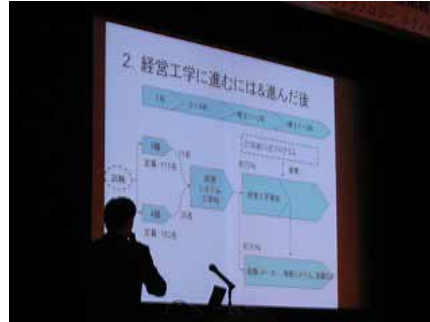


昼には、百年記念館で、各拠点がパネルを展示。教員・学生が、個別に高校生の質問に応じる形式の交流会を実施しました。



午後からは、各拠点ごとに分かれてイベントを開催しました。

「インスティテューショナル技術経営学」では、大岡山キャンパス西9号館において、ビジネスの最先端で活動する経営者を招聘しての特別講演会を行いました。後半にはビジネスシミュレーションゲームも予定していましたが、残念ながら台風の接近により、特別講演会のみにて切り上げることとなりました。



本学修士学生 森山幸司による、本COE「インスティテューショナル技術経営学」およびその主要専攻である経営工学専攻の概要の説明後、ボーダフォン株式会社三谷氏、および株式会社ネプロジャパン 金井氏による講演が行われました。

#### 特別講演会演目

##### 1. 「移動体通信の世界」

ボーダフォン株式会社

プロダクト・サービス開発本部 プロダクトプラットフォーム部長

三谷 幸洋 氏



2. 「起業家の要件」

株式会社ネプロジャパン 代表取締役社長

金井 孟 氏



## 2. 二日目

午前中は70周年記念講堂において、NASA 宇宙飛行士リロイ・チャオ氏と、JAXA 宇宙飛行士 若田光一氏の特別講演会が行われ、昼には、前日に続き百年記念館で交流会が開催されました。



午後からは、各拠点ごとに分かれてイベントを開催。

「インスティテューショナル技術経営学」では、ビジネスの最先端で活動する経営者を招聘しての特別講演会および前日は打ち切りとなったビジネスシミュレーションゲームを行いました。



まず、本学修士学生 竹下真由による、本COE「インスティテューショナル技術経営学」およびその主要専攻である経営工学専攻の概要説明の後、マイクロソフト株式会社 泉水氏による講演が行われました。



## 特別講演会演目

### 「ゲームが開く未来」

マイクロソフト株式会社 業務執行役員

Xbox事業本部 マーケティング部長 兼 ゲームコンテンツ推進部長

泉水 敬 氏



## ビジネスシミュレーションゲーム

今回行ったビジネスシミュレーションゲームは、一般に「貿易ゲーム」といわれるものです。

参加者は、いくつかのグループに分かれ、ハサミや鉛筆などの道具と紙を使って「製品」を作り、「マーケット」で売って収入を得ます。この収入を競い合うこととなります。

スタートの時点で渡される道具はグループによって異なりますので、その「格差」を互いに埋めるために、各グループの間で道具や紙の取り引き（貿易）が自然発生的に行われることとなります。



はじめのうちはとまどっていた参加者も、次第に活発な議論を展開するようになり、部屋の中を動き、取り引きをはじめようになりました。

やはり、主導的な役割を果たしたのは、ビジネス経験のある社会人の方々でしたが、時間の経過に従い、高校生や中学生も様々なアイデアを出しはじめ、自主的に行動をするようになっていました。



ゲーム終了後の「ふりかえり」の時間では、ゲーム中に起こった事象を確認し、その原因について考えることを通じて、ビジネスにおける行動のあり方について考察をしました。

はからずも、感想を述べた高校生たちの口からは、「意志決定のスピード」「資源の最適配分」「協調関係の構築」などのビジネスにおけるキーワードが飛び出し、彼らにとって、今回のゲームが、ビジネスの基本的な仕組みと問題点についての理解の一助になったことを示してくれました。

